

## 埼玉県熊谷県税事務所長賞

「私達がしなきゃいけない事」

深谷市立深谷中学校 一年 内田 彩乃

税金なんて私は関係ないなと、中学生になるまで思っていた。なぜ払わなければいけないのか、それもわからなかった。

何年か前、消費税が引き上げられた。その時、新聞やニュース、大人たちは大さわぎだった。でも私は、2パーセント上がったただけなのにどうして大変なのか、どうしてそこまでさわぐのか、と思い、身近な問題と感じられなかった。

少子高齢化、完全失業率の増加、自然災害など、暗いニュースや社会問題が多く報道されるような世の中になり、税金に無関心な私も不安を抱かずにはいられなくなった。そして、税金についての知識を身につけ、情報を取り入れるようになった。税金について学習していくうちに、思ったことは、今まで私は税金なんて関係ない、と思っていた私はずかしいという事だ。税金の使いみちを考えると、福祉や医療、公共施設などといった言葉が浮かんでくる。これについてよく考えてみれば、私たちと深く関わっていることがわかる。福祉は、自分の力では生活できない人々を援助している。医療では、私たちが病気やケガをした時、安く医者にみてもらえる。公共施設では、図書館や学校など、私たちがよく利用している場であり、なくては困る所でもある。その他でも、教科書を無料で配布したり、安い値段でおいしい給食が食べられたり、これはすべて税金のおかげだ。これだけではない。考えてみればいくらだって出てくるはずだ。税金のおかげで私たちは快適に暮らせている。税金がなければ困ってしまう、と実感させられるはずだ。

私は税金とは何か、と考えたことがある。住みよい街を守るもの、法律で定められている誰もが払わなくてはならないもの、いろいろな答えがあるだろう。でも、私はこう思う。自分だけのためではなく、みんなのためを思う一人一人の思いやりが形として表れたものなんだと。税金は、今まで一生懸命働いて日本を支えてきた人々の役に立つ。障害があって一人では生きていけない人の役に立つ。未来のある子供たちの役に立つ。ケガや病気で困っている人の役に立つ。税金とは、困っている人を助け、自分が困ったら他の人に助けをもらう、そんな人と人の支え合いや協力、助け合う心がそのまま形になったものだと私は思った。誰もが持っている優しさや思いやりの気持ちが、たくさんつまっているのが、税金ではないのだろうか。税金について知れば知るほど、私は思った。

税金なんて関係ない、なんで払わなくてはけないのか、そんなふうに考えている人、そんな考え方はやめ、助け合いの輪を広げようではないか。そして、暗い影に覆われた世の中を、明るい未来へと導いていこう。